

# 学校だより

# 第7号

神奈川県立伊勢原養護学校  
平成29年11月24日発行

## コミュニティ・スクールに向けて

校長 内野 智之

11月に入り、暖かい立冬を迎えたと思いきやめっきり寒くなって参りました。先週の土曜日には第40回文化祭が盛大な中にも無事に終わりホッとしているところです。子ども達の熱気覚めやらずといったところですが、すぐそこまで師走が迫ってきてもいます。今年も残すところ1ヶ月と少しですね。

今年度力を入れている学校のホームページですが、ご覧になられていますか？各学部の授業の様子など、2～3ヶ月ごとに更新しています。文化祭の様子も載せていきますので、ぜひご覧になってください。

さて、来年度に向けてPTA本部役員の選出が進められていますが、学校組織においても様々な準備を行っています。来月行われる高等部前期入学者選抜では、今年度よりやや多目の希望者が出ています。しかし卒業生が一定数いますので、来年度の児童・生徒総数は今年度と同程度と見込んでいます。そのような中で現在準備を進めているものにコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）があります。

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域住民等が共に知恵を出し合い、学校運営に対する当事者意識を分かち合うことで、一緒に参画・協働しながら児童・生徒たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みを持った学校のことです。地域ならではの創意や工夫をいかした教育活動を展開するなど、より良い教育の実現に向けて協働することをねらいとしています。

平成29年4月 地方教育行政の組織および運営に関する法律の一部改正を受けて学校運営協議会の設置が努力義務化されましたが、神奈川県では県立高校改革の中に位置づけられ、平成28年度県立高等学校5校が試行校としてスタートし、平成29・30年度と試行校を増やしていき平成31年度に全ての県立高等学校がコミュニティ・スクールとなります。県立特別支援学校では、平成30年度から試行校4校でスタートし、平成32年度に全ての特別支援学校がコミュニティ・スクールとなります。来年度始まる試行校4校の1校に伊勢原養護学校が指定を受けました。

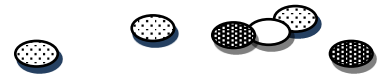
神奈川の特別支援学校らしいコミュニティ・スクールとはどのようなものか、「ともに生きる」社会（共生社会）の実現を促進するコミュニティ・スクール創りを目指すことが大切だと考え、校長会等で検討を重ねています。

就学前の療育等からのつながり、義務教育（小学校・中学校）からのつながり、そして社会に出て行くためのつながりといったタテと、地域防災・学校間交流・各種関連機関との連携・インターンシップ実習等ヨコのつながりをより円滑に、より強固にしていけるような活動を作っていきたいと考えています。その中で、校外の農園が荒されて困っていることなども地域の力を借りて解決できればとイメージします。今後PTAの皆様からもお知恵をお借りすることになると思いますので、よろしくお願いいたします。



# ボッチャにチャレンジ

～中学部スポーツ教室～



9月28日(木)に行われたスポーツ教室の様子を報告いたします。

昨年度行ったラグビーやフライングディスクに続き、今回は、横浜ボッチャ協会から講師をお招きして、東京オリンピック・パラリンピックの競技でもあるボッチャにチャレンジしました。

準備体操で簡単にウォームアップした後、学年別に3つのコートに分かれ、さらに赤・青のチームに分かれます。まずは、目標(ジャックと呼ばれる白い球)めがけて、交互に球を投げ(転がし)ました。

しばらくして、球の重さや感触になじみ、自分たちのフォームが固まったところで、ステップアップ。数メートル先のフープの中に球を入れるミニゲームを行うことに。講師の皆さんが、上手にリードしてくださるので、しっかりフープをねらって、球を投げたり転がしたり。どんどん、フープの中に球が入るようになりました。

そしていよいよ本番。目標が直径10cm程度の白い球になっても、みんな上手に投げる(転がす)ことができました。次第に、白い球の近くにボールが集まるようになり、白い球にぴったり吸い付くようなミラクルスローも!各コートから歓声や拍手が聞こえました。

あっという間に1時間が過ぎ、スポーツ教室は終了。講師の皆さん、ありがとうございました。



## 中学部 修学旅行

10月4日(水)から、2泊3日の行程で名古屋・犬山方面へ修学旅行に行ってきました。

初日は、海が見える食堂でおいしいお弁当をいただいた後、名古屋港水族館に。様々な生き物の他、ベルーガ(シロイルカ)のトレーニングやダイバーが魚たちにえさを与える様子を見学しました。

二日目は、犬山にあるリトルワールドへ。園内バスを利用しながらドイツ、フランスのほか、南アフリカなどの家を見学。形や外壁の色、台所の様子など、どれもこれも自分たちの家との違いにびっくり。そして衣装体験!それぞれポーズを決め、写真を撮りました。

最終日は名古屋市科学館へ。半日ではもったいないほどの展示でした。発電機に、恐竜の骨に、電車の模型に、匂いに、人工たつまきに…時間ぎりぎりまで、見学・体験しました。

公共交通機関の利用について、しっかり学んできた3年生。名古屋・犬山でもたくさんの電車やバスに乗りました。小田急線、新幹線はもちろん、名鉄犬山線、岐阜バス。それに地下鉄も利用しました。「かばんは抱っこ」を合い言葉に、立っても座っても車内マナーを守り、修学旅行を楽しみながら、身につけた力を発揮してきました。



# 高等部・分教室 校内現場実習

10月10日(火)～20日(金)まで高等部では、校内現場実習を行いました。実習は1学期の6月にも行ったのですが、皆成長している様子が見られました。1年生は、6月の実習に比べると各段に作業ペースが上がり、落ち着いて作業できていました。また、あいさつ、報告の声が大きくなっている様子も見られました。2年生は、6月の実習で出た課題をもとにコミュニケーション(あいさつ、報告、相談)、作業ペース、体調管理など具体的に自分の目標を立てて実習に取り組んでおり、今回の実習でもそれぞれ新たな課題を見つけました。3年生は、それぞれの進路に向けて現場実習に取り組んでいました。3年生のあいさつや活動に取り組む様子は1・2年生のお手本になっています!今回の実習で学んだことをこれからの生活、学習に生かして行ってもらいたいです!

分教室は9月19日(火)～29日(金)に校内実習を行いました。1年生から3年生までの縦割りメンバーで3つのグループを作り、ボールペンの組立・検品作業やマジックテープの袋詰め作業を行いました。実習は、それぞれのグループごとに作業目標や自分たちの工場(グループ)名などを決めるところから始まりました。1年生は初めてとなる本格的な実習に初日こそ慣れない様子でしたが、すぐに作業を覚え、二日目からは集中して作業に取り組んでいました。2・3年生は昨年の経験を生かし、グループの中心となって作業を進めていく姿が見られました。

また、実習中はどの工場も「あいさつや返事をしっかりすること」「連絡・報告・相談を忘れずに行うこと」「礼儀や言葉遣いをきちんとすること」を意識して活動していました。これらの経験を糧にし、インターンシップ実習や、現場実習でも、実践して行ってもらいたいです。



# 小学部 修学旅行

小学部修学旅行が10月19日(木)～20日(金)に行われ、5・6年生6名で東京ディズニーランドと葛西臨海水族園へ行ってきました。

一日目は、愛甲石田駅集合時からすでに雨模様。心配そうな保護者に見守られ元気に出発。本厚木駅からは子ども達がとても楽しみにしていたロマンスカーに乗車。通勤時間に重なり満席ですが終点まで静かに過ごせました。東京駅からは京葉線の乗換えまでかなり距離があり、大勢の人込みの中、子ども達も緊張して移動。11時過ぎに舞浜駅に無事到着。ディズニーランドはハロウィンのシーズンで雨天にもかかわらず修学旅行の団体が賑わっていました。雨の中カッパを着用して移動のためアトラクションごとの着脱が大変でしたが、そうした中、ゲストアシスタントカードを利用して人気アトラクションのミッキーの家やプーさんのハニーハントなど7つのアトラクションを体験。初めてディズニーランドを体験する子どももいましたが、暗い中もあまり怖がることもなく満足した様子で宿泊場所「シーサイド江戸川」へ。夕食のメインディッシュのハンバーグはホテルだけあって一味違い美味しくいただきました。そして入浴。大浴場は時間制で貸切のためゆったりと日中の疲れを癒すことができ、10時過ぎには全員が就寝。

二日目は、雨もほとんどあがり、子ども達もしっかり睡眠をとることができました。朝食の和食も完食。9時半にホテルを出発して葛西臨海水族園へ。まぐろの回遊、ペンギンの餌付けに目を輝かせる子ども達。園内でミートスパゲッティのランチを取り帰路へ。予定時間に愛甲石田駅に到着。小学部職員の横断幕のお出迎えにビックリ。瞬間間の二日間でしたが小学部生活のまとめとして公共交通機関を利用することができ充実した修学旅行になりました。